

## - 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ -

県内の新型コロナウイルス検査の陽性者数は、第 29 週 7,713 人から第 30 週 9,499 人と急増しており、特に松山市及び中予地域で急増しています。夏休みを迎え、帰省や夏祭り等のイベントへの参加など、人の移動や接触が活発になることで感染リスクの高まりが懸念されますので、より一層基本的な感染予防対策を徹底しましょう。イベントに参加する際には、場面に応じてマスクを着用し、混雑した時間帯は避けましょう。また、大人数、長時間を避けるといった会食ルールの順守にご協力をお願いします。発熱のほか、咳や鼻水、喉の痛み、倦怠感、消化器症状（下痢等）など、軽い風邪のような症状であっても症状のある方は必ず人との接触を避けましょう。医療機関を受診する場合は、かかりつけ医等の身近な医療機関や「受診相談センター（089-909-3483）」へ事前に電話相談し、案内に従って受診してください。なお、症状が軽い場合は、できる限り平日・日中の受診をお願いします。

『愛媛県庁ホームページ 新型コロナウイルス感染症に関する情報』 ➡



### 発生動向の概況

**RSウイルス感染症**の定点当たり報告数は、第 29 週 5.2 人から第 30 週 3.6 人と急減しました。しかしながら、地域別に見ると、四国中央保健所で急増しているほか、今治保健所では第 29 週 17.2 人から第 30 週 10.0 人と急減したものの依然として多い状況が続いています。この疾患は、2 歳以下の乳幼児を中心に流行し、発熱や鼻汁、咳など軽いかぜ様症状がみられますが、生後 6 ヶ月未満の乳児が感染すると、細気管支炎や肺炎等の重篤な症状を起こすことがあります。日常的に乳児に接する方で咳等の症状がある場合は、マスクを着用し可能な限り乳児との接触を避けましょう。また、子どもたちが日常的に触れる手すりやおもちゃなどは、こまめにアルコール又は塩素系の消毒剤等で消毒し、液体せっけんとう流水による手洗いを励行しましょう。

**梅毒**の届出が 6 例（第 27、28 週含む）ありました。2022 年の県内累計届出数は男性 53 例、女性 20 例で男女共に過去 5 年の同時期（平均：男性 24 例、女性 12 例）では最も多い状況です。特に男性は感染症法が施行された 1999 年以降最多となった 2019 年の累計届出数 55 例に次いで、2 番目に多い状況です。この疾患は主に性行為により感染し、検査や治療が遅れると脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。早期発見のため、症状の有無にかかわらず不安のある方は、県内各保健所で実施している電話相談や無料匿名検査をご利用ください。また、梅毒に感染したと分かった場合は、感染の可能性のある方（パートナー等）にも検査を勧め、必要に応じて一緒に治療を行うことも重要です。

### 県内での感染症発生状況

**全数把握感染症** ※医療機関からの届出数を集計したもので、集計日以降の報告は次回以降に反映されます。

- 二類感染症：結核 6 例
- 四類感染症：レジオネラ症 1 例（80 歳代男性）
- 五類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 3 例（60 歳代男性、80 歳代男性、60 歳代女性）  
侵襲性肺炎球菌感染症 1 例（40 歳代女性）  
梅毒 4 例（50 歳代男性、60 歳代男性、70 歳代男性、50 歳代女性 2022 年県内累計 73 例）
- 新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症 15,491 例

\*その他、結核の届出が第 21 週に 1 例、梅毒の届出が第 27 週に 1 例、第 28 週に 1 例、新型コロナウイルス感染症の届出が第 12 週に 1 例、第 25 週に 1 例、第 26 週に 2 例、第 27 週に 9 例、第 28 週に 17 例ありました。

**定点把握感染症**（数字は最新週の定点当たり報告数）

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
RSウイルス感染症	➡ 3.6	急減。四国中央保健所で急増。特に今治保健所で多い。
咽頭結膜熱	➡ 0.2	減少。今治、松山市、宇和島保健所で散発。
感染性胃腸炎	➡ 4.6	横ばい。西条保健所は他保健所に比べ多い。

### 解析評価委員のコメントから

- RSウイルス感染症：[東予] 増加しています。今治市で多いですが、西条市も流行ってきました。  
[中予] 横ばいですが、年長児にも流行しています。 [南予] 激減しています。
- 咽頭結膜熱：[東予] 今治市でみられているようです。 [中予] ほとんど流行っていません。  
[南予] 少数発生持続しています。
- 感染性胃腸炎：[東予] 横ばいです。まだみられています。 [中予] 減少しています。  
[南予] 多数発生持続しています。

過去 30 週の動向 (—○—：過去 30 週の動向、—■—：過去 10 年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。  
感染症情報に関するご意見、ご質問は [eikanken@pref.ehime.lg.jp](mailto:eikanken@pref.ehime.lg.jp) までお願い致します。

○ 本県では、感染症流行予測事業の一環として、夏季に県内で飼養されているブタの抗体保有状況を調査し、日本脳炎ウイルスの蔓延状況を確認しています。7月中旬までに採血された豚の日本脳炎ウイルス抗体保有状況は、左の表のとおりです。蚊の発生が多い時期ですので、引き続き、蚊に刺されないように注意しましょう。

愛媛県におけるブタの日本脳炎ウイルス抗体保有状況

採血月日	検査頭数	HI抗体 <sup>1)</sup> 陽性数	2ME感受性抗体 <sup>2)</sup>	
			検査件数	陽性数
7月 5日	10	3(30%)	3	0
7月 12日	10	0	-	-

- 1) ブタが日本脳炎ウイルスに感染した事があるかがわかります。HI抗体価が1:10以上を陽性としました。
- 2) 最近感染したかどうかわかります。検査はHI抗体価が1:40以上の検体について実施します。

詳しくは県ホームページをご確認ください。『愛媛県におけるブタの日本脳炎抗体保有状況(2022年)』⇒



○ 第26週の感染性胃腸炎患者からカンピロバクター・ジェジュニが、第28週の感染性胃腸炎患者から腸管凝集付着性大腸菌耐熱性毒素エンテロトキシン1をコードする *astA* 保有下痢原性大腸菌が検出されました。

○ 第27週、第30週に松山市で採取された手足口病患者検体からコクサッキーウイルス A6 が検出されました。検出が続いていることから、コクサッキーウイルス A6 が松山市内で流行している可能性も考えられます。このウイルスは消毒用アルコールが効きにくいので、おもちゃなど手で触れるものは塩素系の消毒剤でこまめに消毒し、液体せっけんとう流水による手洗いを励行しましょう。

過去5週 検出病原体

(2022年6月27日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
26	6/27~7/3	松山市	感染性胃腸炎	カンピロバクター	糞便	1
27	7/4~7/10	松山市	手足口病	コクサッキーA6	咽頭ぬぐい液	1
28	7/11~7/17	松山市	感染性胃腸炎	下痢原性大腸菌	糞便	1
30	7/25~7/31	松山市	手足口病	コクサッキーA6	咽頭ぬぐい液	1

月別病原体検出結果

検体採取月		2022						合計
検出病原体		3	4	5	6	7	8	
ウイルス	コクサッキーA6					2		2
	ノロ	2	1					3
	サポ	1						1
	アデノ37			1				1
ウイルス計		3	1	1		2		7
細菌	下痢原性大腸菌					1		1
	カンピロバクター		1	1	1			3
細菌計			1	1	1	1		4

臨床診断別検出結果(2022年6月以降採取検体)

検出病原体	感染性胃腸炎	手足口病	合計
コクサッキーA6		2	2
ウイルス計			2
下痢原性大腸菌	1		1
カンピロバクター	1		1
細菌計	2		2

注) 表中の検出数は8月2日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2022年 第30週 (2022.7.25~7.31)

患者報告数	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点						四国中央 西条 今治 松山市 中予 八幡浜 宇和島 愛媛県 1週前 2週前 3週前 年齢別 0-5ヶ月 6-11ヶ月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10-14 15-19 20-29 <sup>5)</sup> 30-39 40-49 50-59 60-69 70-79 <sup>6)</sup> 80-		
	1) インフルエンザ		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎		3) 細菌性髄膜炎		4) マイコプラズマ肺炎			クラミジア肺炎	1) インフルエンザ(入院)
	迅速検査A型	迅速検査B型																						
四国中央			8			18					1				-	-								四国中央
西条			10		1	61		1		3	1													西条
今治			50	4		1		1		1														今治
松山市			49	2	3	55	2	4	1	1	1			1		-	-	-	-	-	-	-		松山市
中予			14		3	11				2	1													中予
八幡浜			1			6																		八幡浜
宇和島			1	1		18	1			3														宇和島
愛媛県			133	7	7	170	4	5	1	11	3			2										愛媛県
1週前			191	14	9	169	3	7		14	2	1		7										1週前
2週前			165	7	12	211	14	4	1	16	1			3										2週前
3週前			84	14	12	194	3	6		13	2	4		10										3週前
年齢別			1			1																		0
			10	1		7		1		3														1-4
			43	2		32	1	3		8														5-9
			33	1		25		1			1													10-14
			28	2	1	23			1		2													15-19
			12		2	13																		20-24
			4	1		7																		25-29
			1			8	2																	30-34
						11	1																	35-39
						5																		40-44
						5																		45-49
			1		2	15								2										50-54
						3																		55-59
						15																		60-64
																								65-69
																								70-

定点当たり報告数

四国中央		-	-	2.7		6.0				.3				-	-									四国中央
西条		-	-	1.7		10.2		.2		.5	.2				1.0									西条
今治		-	-	10.0	.8	.2		.2		.2														今治
松山市		-	-	4.5	.2	.3	5.0	.2	.4	.1	.1			.3		-	-	-	-	-	-	-		松山市
中予		-	-	3.5		.8	2.8			.5	.3													中予
八幡浜		-	-	.3			1.5																	八幡浜
宇和島		-	-	.3	.3		4.5	.3		.8														宇和島
愛媛県		-	-	3.6	.2	.2	4.6	.1	.1	.0	.3	.1		.3										愛媛県

- 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
  - 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
  - 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
  - オウム病を除く。
  - 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。
  - 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。
- \*インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定点	数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	

注) 表中の報告数は8月3日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2022年 第29週 (2022.7.18~7.24)

患者報告数	インフルエンザ定点			小児科定点								眼科定点		基幹定点						四国中央 西条 今治 松山市 中予 八幡浜 宇和島 愛媛県 週推移 年齢別						
	1) インフルエンザ		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎		3) 細菌性髄膜炎			4) マイコプラズマ肺炎		1) クラミジア肺炎		1) インフルエンザ(入院)	
	迅速検査A型	迅速検査B型																								
四国中央			1			10		1		2				-	-											四国中央
西条			6		1	53		2		3					2										西条	
今治			86	9				1		1			1		2										今治	
松山市			57	4	4	67		1	4	3	1					-	-	-	-	-	-	-	-	-	松山市	
中予			10		4	14				5															中予	
八幡浜			26			9		1							1										八幡浜	
宇和島			5	1		16							1		2										宇和島	
愛媛県			191	14	9	169		3	7	14	2	1			7										愛媛県	
週推移			165	7	12	211		14	4	1	16	1			3										1週前	
			84	14	12	194		3	6		13	2	4		10										2週前	
			68	10	5	235		4			25		2		6										3週前	
年齢別	0-5ヶ月		10			3				1															0	
	6-11ヶ月		19			10				5															1-4	
	1		43	9		27		5		5															5-9	
	2		32		1	25		2		2															10-14	
	3		47	4		23					2														15-19	
	4		21	1	1	15				1															20-24	
	5		14		1	9																			25-29	
	6		5		1	9																			30-34	
	7					8																			35-39	
	8				3	4	2																		40-44	
	9					8																			45-49	
	10-14				2	11	1						1												50-54	
	15-19					3																			55-59	
	20-29 <sup>5)</sup>					14																			60-64	
	30-39														2										65-69	
	40-49														1										70-	
	50-59																									
	60-69														3											
	70-79 <sup>6)</sup>																									
	80-																									

定点当たり報告数

四国中央		-	-	.3		3.3		.3		.7				-	-										四国中央
西条		-	-	1.0		8.8		.3		.5					2.0										西条
今治		-	-	17.2	1.8			.2		.2			.2		2.0										今治
松山市		-	-	5.2	.4	.4	6.1	.1	.4	.3	.1					-	-	-	-	-	-	-	-	-	松山市
中予		-	-	2.5		1.0	3.5			1.3															中予
八幡浜		-	-	6.5			2.3	.3						1.0											八幡浜
宇和島		-	-	1.3	.3		4.0					.3		2.0											宇和島
愛媛県		-	-	5.2	.4	.2	4.6	.1	.2	.4	.1	.0		.9											愛媛県

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。  
 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。  
 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。  
 4) オウム病を除く。  
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。  
 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。  
 \*インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定点	数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	

注) 表中の報告数は7月27日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。



全国 定点把握感染症 2022年 第28、29週 (2022.7.11～7.24)

(定点当たり報告数)

	1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点				
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎
愛媛県		4.5	.2	.3	5.7	.4	.1	.0	.4	.0			.4					
近畿 県	香川県	.0	.0	.6	.3	6.0	.0	.3		.5		.0						
	徳島県		.3	.0	.0	4.5	.1			.8		.1		.3			.1	
	高知県		.6	.5	.2	2.0	.1	.1	.0	.3	.2	.0						
28 週	全 国	.0	2.3	.3	.4	4.2	.1	1.9	.0	.4	.5	.0	.0	.2		.0	.0	.0
週	北海道		1.3	.5	.7	2.5	.1	1.7		.3	.4	.0		.1				.1
	東北		.4	.3	.3	2.6	.1	.7		.5	.2	.0	.0	.1			.0	.0
	関東	.0	1.3	.3	.4	4.6	.1	3.2	.0	.4	.9	.0	.0	.2			.0	.0
	甲信越北陸		.4	.4	.3	5.0	.1	3.9	.0	.3	.9	.0		.1			.0	
	東海	.0	5.3	.3	.3	3.9	.1	1.0	.0	.3	.5	.0		.1		.0	.0	
	近畿	.1	4.9	.4	.3	4.1	.1	.5	.0	.3	.1	.0		.2		.0	.0	
	中国四国	.0	1.7	.4	.3	4.7	.1	.8	.0	.4	.3	.0		.3			.0	.0
九州沖縄	.0	1.3	.4	.8	4.7	.1	1.7	.0	.5	.2	.1		.3		.0	.0		

(7.20集計)

愛媛県		5.2	.4	.2	4.6	.1	.2		.4	.1	.0		.9					
近畿 県	香川県		.2	.4	.1	3.6	.0	.4		.5	.0	.1						
	徳島県		.8	.3	.0	3.1	.2	.4		.3								
	高知県		.7	.4	.1	2.1	.2	.1	.0	.4	.3							
29 週	全 国	.0	2.3	.2	.3	3.0	.1	2.1	.0	.3	.5	.0	.0	.2		.0	.0	.0
週	北海道		1.5	.3	.5	1.5	.1	1.9	.0	.2	.6	.0		.1		.0	.0	
	東北	.0	.4	.2	.2	2.0	.1	1.2	.0	.4	.2	.0		.3			.0	.0
	関東	.0	1.3	.1	.2	3.0	.1	3.7	.0	.3	.9	.0	.0	.3		.0	.0	.0
	甲信越北陸	.0	.3	.2	.3	3.4	.2	4.5		.3	1.1	.0	.0	.1				
	東海	.0	4.8	.2	.2	2.9	.0	1.5	.0	.2	.5	.0		.1		.1	.0	
	近畿	.2	5.4	.3	.3	3.2	.0	.6	.0	.3	.1	.0		.1		.0	.0	
	中国四国	.0	1.9	.2	.2	3.5	.1	.9	.0	.4	.3	.0		.2		.0	.0	
九州沖縄	.0	1.4	.2	.4	3.6	.1	1.4	.0	.4	.2	.0		.0		.0	.0	.0	

(7.27集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

